

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通園みらい		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日		令和8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 5日		令和8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 12月 15日		令和8年 1月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の困り感を緩和できる。	・訪問先に丁寧な挨拶や連絡をとり、負担にならないよう調整している。	・利用時の特性を訪問先と共有し、よりよい支援方法等を確認しあうよう取り組む。
2	・訪問先(担任)との困り感を共有できる。	・訪問先へは、2人体制で行くことで、事前の打ち合わせ等相談しながら取り組める。	・訪問先の様子を保護者に分かりやすく伝えるよう、職員2人体制で面談している。
3	・保育所等訪問支援事業の役割を知ってもらえるだけでなく、児童発達支援センターとしての取り組みを知ってもらえることが強み。	・保健師又は相談員に、訪問することを事前に連絡をしている。	・他機関と連携(情報の共有)し、訪問支援事業を知ってもらう取り組みをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内に、相談専門員が常駐していないので、連絡日程調整がしづらい。	・保護者、訪問先、事業所の日程調整が難しい。	・訪問先と保護者への報告が、時間的に空きすぎないように調整する。
2	・訪問先によって、訪問支援事業に対する受容や理解についてばらつきがある。	・訪問先が、訪問支援事業に対して必要性を感じているのか。	・訪問先に、訪問支援事業の趣旨を十分に理解してもらい、相手のニーズに合った支援を考える。
3	・地域での訪問支援事業の認知度を高める。	・学校へは訪問支援事業の行きづらさがある。	・学校に対して、訪問支援事業の趣旨を理解してもらえるよう努力する。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 通園みらい

公表日 令和8年2月26日

利用児童数 令和7年12月1日現在 4人

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			2		・必要な教材があれば、訪問先と連携をしながら、環境を整えられるようアドバイスをしています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2			1		・保護者の意向だけでなく、担任の先生とのカンファレンスの中で意向を確認し取り入れています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		1			・専門的な立場から、具体的な情報を伝えられるよう努力しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	1				情報伝達の場合は、2人体制で行いニーズに合った支援を考えながら、分かりやすく伝えるよう努力しています。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2			1		・訪問終了後、担任の先生等と必ずカンファレンスを行っている。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2			1		・訪問終了後、担任の先生等と必ずカンファレンスを行っている。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2			1		・法人のホームページで自己評価を掲載しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2			1		・連携体制を整えるよう努力しています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					
	28	事業所の支援に満足していますか。	3					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 2月 26日

通園みらい

利用児童数

令和7年12月1日現在 4 回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	1		・入学前のことも知ることができたので良かった。	・情報の共有をし、双方十分に意見交換をしたうえで、できるだけわかりやすく助言する。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	1		・児童発達支援センターでの対応をお伺いし、学校での対応につなげることができた。	・担当の職員との話し合いの中で、どういったことが知りたいのかを理解し、適切な助言をする。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	1		・支援員からの助言や情報提供があり、参考になった。	・担当の職員との話し合いの中で、どういったことが知りたいのかを理解し、適切な助言をする。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1		・訪問支援利用によるものかどうか、回数が少ないので評価することが困難である。	・保育所等訪問支援事業を行ったことで相手側にメリットが生まれるよう努力する。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	1		・日程調整が難しいことが課題である。	・できるだけ相手方に負担にならないよう配慮する。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校以外の視点からお話を伺うことができ、新たな気づきにつながるので支援の充実に活かしていきたいと思えます。</li> <li>・色々なお話を伺い、目に見える成長を共有することができて良かった。</li> <li>・今年度は、訪問支援の機会が少なかつたため、評価することが難しかった。</li> <li>・環境等にアドバイスを頂き、参考になりました。</li> <li>・就学に向けて、保健師さんや訪問支援員さんの支援があつて進めることができたと思えます。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報を共有し、今後に生かせるように努めます。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		通園みらい		公表日		令和8年 2月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		連絡・相談しやすい人数である。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		今までの記録を確認したり、前回の振り返り を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		過去に行った支援も含め、今回の支援を振り かえる時間を取り、できるだけ支援計画に反 映させるよう努めている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		他機関との連絡・連携を怠らないよう気を付けている。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		子どもの特性を踏まえた情報を、保護者に伝えている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、重要事項を基に説明している。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事前に訪問する施設に伺い、事業の趣旨等を丁寧に説明している。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		説明する時間を確保している。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問後の面談だけでなく、就学に関する相談や、家族に関する相談などの機会を持っている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子保育の時に交流できる機会を作っている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談依頼があったときには、早急に対応している。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		実施後、速やかにカンファレンスの時間を確保しているが、時間の調整が難しい。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分留意している。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		学校の方針・指導方法があり、話し合いは十分にもっているも、こちらからの助言がしづらい場合もある。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訪問先では、できるだけマスクを着用している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			